

2025（令和7）年度入学試験問題

国語

- 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 試験時間は60分です。
- この問題の本文は全部で18ページ（問題一・二）です。
全国入学試験においてネットワーク情報学部では、問題一のみを採点の対象とします。
問題二は解答しなくても結構です。
なお、同一日に他の学部を受験する方、およびスカラシップ入学試験を受験する方はすべてを解答してください。
- 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 解答は、設問に従って、該当する解答欄にマークしてください。なお、すべてマーク解答問題です。解答にあたっては、必ず黒の鉛筆またはシャープペンシルを使用してください。
- 解答用紙に記入するときには、下記の点に注意してください。
 - 氏名・受験番号を所定欄に記入し、該当するマーク欄を正確にマークすること。
(機械処理上、非常に重要なので誤記のないよう注意してください。)
 - 訂正する場合は、プラスチック消しゴムで完全に消してから改めて書き直すこと。
 - 指定した解答欄以外および枠外の空白部分には何も書かないこと。
 - 解答用紙は、折り曲げたり汚したりしないこと。
 - 解答用紙の解答欄をマークするときは、次の(例)のようにマーク解答欄の番号をぬりつぶすこと。

(例) ③と解答する場合

マ ー ク 解 答 欄									
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

- 問題冊子の余白等は適宜利用してかまいません。
- 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

問題一（現代文）

全員が解答してください。

問題一 次の文章を読み、後の設問に答えなさい。

感染症も、自然災害のひとつである。しかし感染症には、ほかの自然災害や人災のように、災厄を省みるという機会も、またそのような発想もない。ということに、気がついた。

以来、「それはいったいなぜか？」ということ考察することが、ウイルス学者としての、現在の私自身のひとつのテーマとなっている。

簡単に思い当たる理由のひとつは、「節目となる日付がないこと」だ。^W第二次世界大戦は、1945年の8月15日に終戦を迎えた。広島と長崎にはそれぞれ、同年の8月6日と9日に原爆が投下された。これらの日付が、当時を省みるタイミングとなっている。

これは、自然災害も同様である。たとえば、2011年3月11日に発生した東日本大震災、2014年8月20日に起こった集中豪雨による広島での大規模な土砂災害。いずれもこの日に、追悼のためのイベントが開催されている。^A

しかし、感染症による災厄の場合には、「この日」という、明確な日付が存在しない。これはたしかに、ほかの災厄との違いのひとつではある。

新型コロナウイルスパンデミックの場合、節目となりそうな日付は、以下のようなものがある。

——中国・武漢での謎の肺炎の蔓延^{まん}が世界保健機関（WHO）に報告されたのは、2019年12月31日。

——WHOが「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態（PHEIC）」、つまり俗に言う「パンデミック宣言」を発出したのは、2020年1月30日。

——そして本邦の場合、日本政府が初めての緊急事態宣言を発出したのは、2020年4月7日。

いちおう、「節目」にしようと思えばできる日付は、このようにないわけではない。しかしそもそもにして、「過去の感染症・パンデミックを省みよう」という発想自体が、ほかの自然災害に比べて希薄なように感じられる。それはなぜだろうか？

節目の日に追悼イベントを開催する、ということの大きな理由は、「過去の災厄を省みる」ことにある。それが人災の場合には、「そのような災厄を二度と繰り返さないために何をすべきか」、それが自然災害の場合には、「もし再び起きてしまったときにはどう対応すべきか、どう備えるべきか」という「教訓」が示される。そしてそれとともに、「教訓」の重要性について考える機会が、人々に提供される。つまり、「過去の災厄を省みる」機会がない感染症の場合には、このような「教訓」を得る機会、考える機会がないことを意味する。

「追悼」というイベントで重要なのは、その悲惨さや当時の状況を、後世の人に伝えるための「ナラティブ」である。^(注)震災の被災者、原爆の被爆者、およびそれらの遺族が残す災厄当時のエピソードが「ナラティブ」となり、それが「教訓」となる。

しかし、^B感染症にはこれがない。つまり、「過去の災厄を省みるためのナラティブ」が形成されないのである。

つい最近まで、新型コロナウイルスパンデミックという災厄の^Xカチュウにいた私たちにとって、これは奇妙に聞こえないだろうか？ というのも、パンデミック^た真つ只中の頃を思い返してほしい。

たとえば、2021年の東京オリンピックの開催前後、新型コロナウイルス・デルタ株が世界的に蔓延していた「第5波」の頃。医療体制がひっ迫して自宅で亡くなってしまった方や、救急車で自宅から搬出されはしたもの、受け入れ先が見つからずに車内で亡くなってしまった方。そして、その遺体を引き取ることもできない遺族の方々。大手既成メディアは、災厄のど真ん中で苦しんでいる方々の「ナラティブ」を、毎日のように発信していたのである。しかし今となつては、そのような過去の事例を省みようとはしない。

さらに言えば、私は先ほど「思い返してほしい」と読者のみなさんに問いかけてみた。改めてお願いしよう、「数年前の、新型コロナウイルスパンデミックの状況を思い返してほしい」。

———どうだろうか？ 「思い出したくもない」、という方が大半ではないだろうか。

これも私が不思議に思っているところのひとつで、「省みたくない」という条件反射のような忌避反応、嫌悪感みたいなものが、

感染症にはあるようである。災厄のことを能動的に振り返りたい、という人などほとんどいないことはもちろん理解している。

しかしそれでも、感染症の場合には、「あの経験を後世に活かしてほしい」という思考は働きづらく、むしろ、「終わったことはもうどうでもいい」「早く忘れ去ってしまいたい」「そんな記憶にはフタをしてもう二度と開けたくない」と、黒歴史のごとく「なかったこと」にしたい、という人が大半のように感じられる。そして大手既成メディアも、そのような大衆思想の上にあぐらをかいたままで、そこにあえて切り込もうとはしない。

このエッセイの冒頭で私は、「感染症は自然災害のひとつ」と述べた。しかしそれを読んで、疑問符が浮かん^cだ人もいると思う。つまり、「そもそも、感染症は自然災害なの？」というニュアンスでの疑問符である。

まず前提として、専門的には、感染症は「生物学系の自然災害」と分類されている。それにもかかわらず、感染症が、地震や台風などのほかの自然災害と一線^yを画すのはなぜだろうか？

それはおそらく、その災害の広がり^yに「人」が介在しているからだと私は考えている。

地震、津波、台風、洪水、噴火などの自然災害の場合、その災厄を引き起こした「加害者」のポジションにあるのは「自然現象」、つまり「地球」である。そのため、加害者たる地球を非難したくなる気持ちも湧くだろうが、それをする無意味さ、やるせな^zさも表裏一体としてある。

それに比べて感染症、特に、新型コロナウイルスのように人間社会で媒介される病原体の場合には、「人」が加害者のポジションに組み入れられる場合もありうる。これが、ほかの自然災害と感染症の大きな違いのひとつである。

「彼が咳をしているのにマスクをしなかったから」「熱があるのにあの子が出勤してきたから」というように、自分という主観からすると、自分を被害者たらしめる存在、つまり加害者は他人、と捉えてしまえることだ。さらに言えば、「政府がちゃんと対応していたら」「D」「夜の街クラスターのせいだ」というように、誰かの不手際、つまり、感染を広げる場が

できることを止められなかった「組織」を、加害者に位置づけてしまう構図も充分に想定されるし、それは新型コロナパンデミッ

クの中でも散見されたことだ。

ここでまず正しく理解しておくべきは、感染症の災厄の「加害者」は、感染を広げた「人（他人）」ではなく、「病原体そのもの」である。ここでの「加害者」とは、あくまで擬人化した表現・比喩である。感染症の場合、その原因たる病原体を広げた「感染者」を「加害者」に位置づけてしまいがちであるが、これがそもそも誤りである。

本来は擬人化した表現であるはずの「加害者」に「感染者」をあてはめてしまうこと、そしてそれがそれっぽくまかり通ってしまふところが、感染症が、ほかの自然災害と一線を画すところのひとつだと私は考えている。

「なぜ感染症の場合には、過去を省みないのか？」。そして、「そのために必要な『ナラティブ』がなぜ形成されないのか？」という主題に戻る。

これについて私が考えたことのひとつに、「被害者の経験と記憶が『まだら』だから」、というものがある。

震災などのほかの自然災害の場合（あるいは、戦争などの人災でも同じかもしれないが）、人々は、その災厄の被害を「受けた人」と「受けなかった人」、つまり、「被災者」と「非被災者」に大別される。そのような状況の中での大衆心理は、被災者への憐憫や連帯感、あるいは救済という、シンプルに同じ方向を向く心理が働く。

このような構図の上では、被災の悲惨さや当時のエピソード、被災者を支援するための活動、そして、災厄から立ち上がろうとする被災者の姿勢など、どれを切り取っても上記の構図の中にあり、それぞれが同じ方向を向いている。それが「教訓」につながる「ナラティブ」として成立する。

つまり、その「ナラティブ」にどのような立場で関わったとしても、それが「被災者視点」であってなくても、この構図の上では、特に不具合は生じない。それによって、この構図に対する「共感」が生まれ、それが災厄についてのナラティブを許容する受け皿となる。

それに対し、感染症の場合には、この構図がうまく成立しない。それは上記のような、ほかの自然災害の「被災者」と「非被災

者」という分け方が、地理的にも経験的にも、そしてその程度も、「まだら」だからだと思っている。

地震にせよ台風にせよ、ほかの自然災害の場合、「被災地」は地理的に限定的である場合が多い。そのため、「被災者」と「非被災者」は、その災害の発生場所で区分することになる。しかし感染症の場合、特に、新型コロナウイルスのようなパンデミックの場合、「被災者」と「非被災者」に地理的な区分はない。パンデミックでは人類すべてが「被災者」に区分され、地理的に「非被災者」に分類される人はいない。

それでは、被災の「経験」と「程度」はどうだろうか？ これこそが、感染症の場合には「まだら」になっている。感染して亡くなった人や、感染して重症化した人、そして、近しい人が亡くなった人。このような人たちは、感染症という災害の「被災者」という位置づけにある。また、それに対し、「まだ感染していない人」は、「非被災者」に位置づけられる。

しかし、感染症という災厄は、それだけに留まらない。「感染したけど大した症状じゃなかった」という、「感染の有無」を基準にすれば「被災者」であるが、実際の「経験」と「程度」としては「非被災者」のような人もいる。実際、新型コロナウイルスの場合には、この層がかなりの割合を占めていた。

さらに言えば、「まだ感染していない人」という、感染の有無だけで言えば「非被災者」に位置する人たちも、精神的負担としては本当に「非被災者」なのか？ という疑問も湧く。感染リスクを避けるために毎日マスクをし、不要不急な外出や外食を控え、必須ではない人との接触を避けるよう心がけた時間というのは、それだけでストレスを伴うものである。そのような時間が3年以上も続き、それを経てもなお、感染の有無だけで「被災者」と「非被災者」に分けられるのであれば、このような人たちは「非被災者」と分類されてしまう。

その一方で、マスクをしないなど、感染リスクに対する心がけがなかった人が「感染したけど大した症状じゃなかった」場合、「感染の有無」の分類に準じるなら、このような人たちも「被災者」と区分される。それを、一生懸命感染リスクを避けるよう心がけて感染を避け続けた人たちは、感情的に許容できるだろうか？

このように、感染症に対するそれぞれの「経験」と「程度」が「まだら」になってしまうと、みんなが同じ方向を向く心理や、それを客観的に理解できる「共感」は生まれず、大衆の同意を得るための構図が作りづらくなってしまふ。これこそが、「感染症のナラティブ」の形成を妨げる要因なのではないだろうか？

（佐藤佳「感染症のナラティブ」による。ただし設問の都合上、一部を改変した）

（注）ナラティブ……物語

問一 傍線部W「第二次世界大戦」とあるが、戦争に関連した作品と作者の組み合わせとして正しいものを次の①～⑥の中から一つ選び、解答欄 1 にマークしなさい。

- ① 夏の花——火野葦平 ② 黒い雨——井伏鱒二 ③ 字のない葉書——原民喜
④ 父と暮らせば——向田邦子 ⑤ 麦と兵隊——大岡昇平 ⑥ レイテ戦記——井上ひさし

問二 傍線部X「カチュウ」を漢字で書き表すとき、「カ」の字と組み合わせて二字の熟語となるものを次の①～⑥の中から一つ選び、解答欄 2 にマークしなさい。

- ① 福 ② 種 ③ 題 ④ 巻 ⑤ 計 ⑥ 料

問三 傍線部Y「一線を画す」の意味として正しいものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 3 にマークしなさい。

- ① 新しいことをして前の時代と区切りをつける
- ② 活動の場や戦いの前線などから離れる
- ③ 境界をはっきりとさせて区切りをつける
- ④ 踏みとどまる範囲を外れ守るべきことを破る
- ⑤ これ以上立ち入られないよう距離をとる

問四 傍線部Z「表裏一体」の「裏」と読みが異なるものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 4 にマークしなさい。

- ① 懷裏 ② 鏡裏 ③ 脳裏 ④ 庫裏 ⑤ 足裏

問五 傍線部A「追悼のためのイベントが開催されている」とあるが、その理由としてあてはまらないものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 5 にマークしなさい。

- ① 災厄が発生した節目となる日付を明確に記憶するため
- ② 節目の日を機会として災厄が起こった当時を省みるため
- ③ 同じような災厄を二度と繰り返さないようにするため
- ④ 再び災厄が起こってしまった場合の対応を考えるため
- ⑤ 自然災害にどのように備えるべきかについて示すため

問六 傍線部B「感染症にはこれがない」とあるが、その説明としてもっとも適当なものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄

6 にマークしなさい。

- ① 災厄のど真ん中で苦しんでいる人の「ナラティブ」を毎日のように発信し続けてしまう
- ② 自らが経験した災厄について能動的に振り返りたい人はいないという現実を理解できない
- ③ 災厄を「なかったこと」にしたいというような大衆思想にメディアが切り込まない
- ④ 過去の災厄から「教訓」を得る機会および「教訓」の重要性について考える機会がない
- ⑤ 「経験を後世に活かしてほしい」という思考に対する条件反射のような忌避反応がある

問七 傍線部C「疑問符が浮かんだ」とあるが、その理由としてもっとも適当なものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄

7 にマークしなさい。

- ① 「加害者」たる存在を非難することに対して、無意味さややるせなさを感じるから
- ② 自然災害における擬人化された「加害者」は、「自然現象」や「地球」であるから
- ③ 自分という主観から「加害者」のポジションに「感染者」を組み入れることができるから
- ④ 感染症の「加害者」は、感染の広がり止められなかった「組織」であるから
- ⑤ 自分を被害者たらしめる存在は、「病原体そのもの」であることが明白であるから

問八 空欄

D

に入る語句としてもっとも適当なものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄

8

にマ

クしなさい。

- ① 子どもがマスクを付けてくれていたら
- ② 学校が学級閉鎖にしてくれていたら
- ③ 友人が誕生日会を延期してくれていたら
- ④ 夫が黙食をしてくれていたら
- ⑤ 上司が外食を自粛してくれていたら

問九 傍線部E「この構図に対する「共感」が生まれ、それが災厄についてのナラティブを許容する受け皿となる」とあるが、その説明としてもっとも適当なものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 **9** にマークしなさい。

- ① 「被災者」と「非被災者」に大別され、「被災者」への憐憫や連帯感という同じ方向に大衆心理が働く構図への「共感」が、被災の悲惨さや当時のエピソードを後世に伝えるナラティブとして受け入れる態勢につながるということ
- ② 「被災者」と「非被災者」に大別されずに、「被災者」の救済という方向に大衆心理が働く構図への「共感」が、感染症の「加害者」が「病原体」であったエピソードを後世に伝えるナラティブとして受け入れる態勢につながるということ
- ③ 「被災者」と「非被災者」に大別され、災厄を省みたくない嫌悪感という方向に大衆心理が働く構図への「共感」が、災厄から立ち上がる被災者のエピソードを後世に伝えるナラティブとして受け入れる態勢につながるということ
- ④ 「被災者」と「非被災者」に大別されず、すべての人が被災者となり、その経験と記憶がまだらであることへの「共感」が、被災の悲惨さや当時のエピソードを後世に伝えるナラティブとして受け入れる態勢につながるということ
- ⑤ 「被災者」と「非被災者」に大別されないまま、「被災者」への憐憫という同じ方向に大衆心理が働く構図への「共感」が、被災者を支援する活動などのエピソードを後世に伝えるナラティブとして受け入れる態勢につながるということ

問一〇 後のア～カのうち、傍線部F「『感染症のナラティブ』の形成を妨げる要因」の説明としてあてはまるものの組み合わせはどれか。本文全体をふまえて①～⑦の中から一つ選び、解答欄 10 にマークしなさい。

- ① アイ ② アカ ③ イウ ④ ウエ ⑤ ウオ ⑥ エオ ⑦ オカ

ア 「被災者」と「非被災者」を地理的に区分できず人類すべてが「被災者」になると、「非被災者」が存在せず、シンプルに同じ方向を向く心理が働きやすいこと

イ 近い人が亡くなった人も「被災者」に位置づけられると、「まだ感染していない人」でも「被災者」となりえ、「経験」を客観的に理解できる視点がまだらになること

ウ 「感染の有無」を基準にすると、「感染したけど大した症状じゃなかった」人は「被災者」であるが、実際には「非被災者」のような人も多くいたこと

エ 感染リスクに対する心がけがなかった人を「非被災者」に区分することを、感染リスクを避けるよう心がけて感染を避けた人たちは感情的に許容できないこと

オ 被災の「経験」と「程度」がまだらであると、それを客観的に理解できる「共感」が生まれず、「過去の災厄を省みよう」という一方に大衆の心理が働きにくいこと

カ 節目となりそうな日付は複数あるが、「この日」という明確な日付は存在しないことから、ナラティブを形成しようという発想自体が希薄になりやすいこと

問題二（古文）

全国入学試験においてネットワーク情報学部のみを受験する方は採点の対象にならないので、解答しなくても結構です。

ネットワーク情報学部以外の学部を受験する方、ネットワーク情報学部と他学部を併願している方、およびスカラシップ入学試験を受験する方は解答してください。

問題二 次の文章は、平清盛の出生にまつわる逸話である。これを読み、後の設問に答えなさい。

清盛は忠盛が子にはあらず、まことには白河院の皇子なり。その故は、さんぬる永久のころほひ、祇園女御と聞こえし幸ひ人おはしける。くだんの女房の住まひ所は、東山のふもと、祇園のほとりにてぞありける。白河院、常は御幸なりけり。

ある時、殿上人一兩人、北面少々召し具して、しのびの御幸ありしに、ころは五月二十日あまりの、まだ宵のことなれば、目さすとも知らぬ闇ではあり、五月雨さへかきくらし、まことにいぶせかりけるに、くだんの女房の宿所近く御堂あり。御堂のかたはらに光りもの出で来たり。頭は銀の針を磨きたてたるやうにきらめき、左右の手とおぼしきをさし上げたが、片手には槌のやうなるものを持ち、片手には光るものをぞ持ったりける。君も臣も、「あなおそろし、これはまことの鬼とおぼゆる。手に持てるものは、聞こゆる打出の小槌なるべし。いかがせん」と騒がせおはしますところに、忠盛そのころはいまだ北面の下臈で供奉したりけるを召して、「この中には汝ぞあるらん。あのもの射も殺し、切りもとどめなんや」と仰せければ、忠盛かしこまり承つて行き向かふ。内々思ひけるは、「このもの、さしもたけきものとは見ず。きつね、たぬきなんどにてぞあるらん。これを射も殺し、切りも殺したらんは、無下に念なかるべし。生けどりにせん」と思つて歩みよる。とばかりあつてはさつと光り、とばかりあつてはさつと光り、二三度しけるを、忠盛走り寄つて、むずと組む。組まれて、「こはいかに」と騒ぐ。変化のものにてはなかりけり。はや人にてぞありける。その時、上下、手々に火を灯いて、これを御覧じ、見給ふに、六十ばかりの法師なり。たとへば、御堂の承仕法師でありけるが、御あかしまゐらせんとて、手瓶といふ物に油を入れて持ち、片手には、土器に火を入れてぞ持ったりける。雨は沃に沃て降る。濡れじとて、頭には小麦の藁を笠のやうにひき結うでかづいたり。土器の火に、小麦の藁かかやいて、銀の針のやうには見えけるなり。事の体、一々にあらはれぬ。「これを射も殺し、切りも殺したらんは、いかに念なからん。忠盛がふるまひこそ思慮ふかけれ。弓矢とる身はやさしかりけり」とて、その勸賞に、さしも御最愛と聞こえし祇園女御を、忠盛にこそ賜うだりけれ。

さて、かの女房、院の御子をはらみたてまつりしかば、「生めらん子、女子ならば朕が子にせん。男子ならば忠盛が子にして、

弓矢とる身にしたてよ」と仰せけるに、すなはち男を生めり。このこと奏聞そうもんせんとうかがひけれども、しかるべき便宜もなかりけるに、ある時、白河院、熊野へ御幸なりけるが、紀伊国いとが坂といふ所に、御輿こしかきすゑさせ、しばらく御休息ありけり。藪やぶにぬか子のいくらもありけるを、忠盛袖にもり入れて、御前へ参り、

^E いもが子は這ふ程にこそなりにけれ

と申したりければ、院、やがて御心得あつて、

^F ただもりとりてやしなひにせよ

(「平家物語」による)

(注1) 忠盛……平忠盛。一般には清盛の父とされる

(注2) 永久……年号。一一一三年～一一一八年

(注3) 殿上人一兩人、北面少々……「一兩人」は「一人、二人」の意。「北面」は上皇を警護する北面の武士

(注4) 目さすとも知らぬ闇……目を突かれても、わからないほどの暗闇

(注5) 念なかるべし……残念なことだろう

(注6) たとへば、御堂の承仕法師……「たとへば」は「詳しく言う」との意。「承仕法師」は雑用をつとめる僧

(注7) 雨は沃に沃て降る……雨は激しく降る

(注8) 勸賞……褒美

(注9) ぬか子……山いものつるに生える芽で食用にする。後の「もり入れて」「もりとりて」の「もり」は「摘み取る」の意

問一 二重傍線部(a)～(d)のうち、謙譲語はどれか。次の①～④の中から一つ選び、解答欄 11 にマークしなさい。

- ① (a) 聞こゆる ② (b) 承つ ③ (c) 聞こえ ④ (d) 賜う

問二 波線部ア～エのうち、二つの助動詞から成るものはどれか。次の①～④の中から一つ選び、解答欄 12 にマークしなさい。

- ① ア ② イ ③ ウ ④ エ

問三 傍線部A「に」と文法的に同じものを次の①～④の二重傍線部の中から一つ選び、解答欄 13 にマークしなさい。

- ① 人の耳を喜ばしめむとにはあらず (方丈記)
 ② この文にあること、いとあやし (平中物語)
 ③ この春夏、ここにて過ぐさむ (うつほ物語)
 ④ にかきこと、物にもにず (宇治拾遺物語)

問四 傍線部B「御あかしまゐらせん」の現代語訳としてもっとも適当なものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 14 にマークしなさい。

- ① 仏様にお食事をさしあげよう
 ② 夜明けまで読経し申し上げよう
 ③ 仏様に明かりをお供えしよう
 ④ 寝ずの番をさせていただこう

問五 傍線部C「事の体、一々にあらはれぬ」の解釈としてもっとも適当なものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄にマークしなさい。

15

- ① 鬼だと思っていたものの正体がみな明らかになった
- ② 忠盛が鬼を生け捕りにした事情が詳しく説明された
- ③ 闇の中にひそんでいた鬼の姿が少しずつ見えてきた
- ④ 鬼を恐れて隠れていた人々も一人ずつ姿を見せた

問六 傍線部D「弓矢とる身はやさしかりけり」と白河院が忠盛を評した理由としてもっとも適当なものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄にマークしなさい。

16

- ① 鬼を生け捕りにしようとした忠盛の勇敢さは武士にふさわしいと判断したから
- ② 人の命を奪うことなく事件を解決した忠盛の判断はすぐれたものだと考えたから
- ③ 僧侶を殺して仏罰があたることを恐れた忠盛の信仰心の深さに感心したから
- ④ 弱い相手を殺しても名誉にならないという忠盛の考えを武士らしいと思ったから

問七 傍線部E、Fのやりとりの説明としてもっとも適当なものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 17 にマークしなさい。

- ① 祇園女御の子供をこのまま自分で育てたいと願い出た忠盛に、白河院は好きにせよと許した
- ② 祇園女御の子供は女の子だったと院に伝えた忠盛に、白河院は忠盛の子にせよと命じた
- ③ 祇園女御の子供が無事に育っていると喜ぶ忠盛に、白河院は女御も子も大切に扱えと応じた
- ④ 祇園女御から生まれた子供の成長を報告した忠盛に、白河院はそのまま忠盛が育てよと答えた

問八 白河院の命によって作られた勅撰和歌集を次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 18 にマークしなさい。

- ① 古今和歌集
- ② 拾遺和歌集
- ③ 金葉和歌集
- ④ 千載和歌集
- ⑤ 新古今和歌集